

下呂農林事務所の普及活動状況 令和7年10月31日現在

ぎふ農業・農村を支える人材育成

■新規就農者支援 遊休農地活用による作付面積拡大支援

農業普及課では、新規就農者が円滑に経営開始や規模拡大が行えるよう、関係機関と連携して支援を行っています。

令和7年10月8日と15日には、令和8年度以降にトマト栽培ほ場として利用が予定されている下呂市萩原町上村地内の遊休農地（41a）において、雨よけハウスの設置に向けた草刈作業を実施しました。

今回の作業は、農林事務所が実施する「農地イキイキ再生週間」の荒廃農地解消活動の一環として行われ、作業には下呂農林事務所関係各課、下呂市農務課、同市農業委員会の関係者等、2日間でのべ20名が参加し、連携体制のもと安全かつ効率的に作業が進められました。

農業普及課では、就農希望者や新規就農者が円滑に農業経営を開始し発展させられるよう、関係機関と連携し、農業経営改善や資金調達を総合的に伴走支援していきます。

(地域支援係)



【作業の様子】

ぎふ農畜水産物のブランド展開

■馬瀬ひかり生産組合 美味しい米づくりに向けた取組支援

下呂市馬瀬の馬瀬ひかり生産組合（代表者：山本正道、組合員13名）では、昼夜の温度差が大きな気象条件や良質な水など、地域の自然環境を活かした美味しい米づくりを進めており、取組の一環として「米・食味分析鑑定コンクール国際大会」をはじめとする食味コンクールへの出品を積極的に行っています。

10月31日に開催された「第11回飛騨の美味しいお米食味コンクール」では、同組合の生産者2名が特別優秀賞を受賞しました。

今年は、いもち病の発生や夏季の高温など、水稻の栽培管理を行う上で苦労の多い年でしたが、各組合員の努力もあり、機械で測定した米の食味値の平均は前年よりも向上しており、組合員は更なるコンクールでの入賞を期待しています。

農業普及課では、同組合の活動に対し栽培指導や食味分析などを実施しており、今後も美味しい米づくりに向けた生産者の取り組みを支援していきます。

(地域支援係)



【受賞した生産者】